

ピアノ五重奏の名作を聴く



Mie Kobayashi



Erina Katō



Miyuki Washimiya



Kenta Matsumi



Ken Karatsu

© 武藤章

出演

鷲宮 美幸 (Pf.)

小林 美恵 (Vn.)

加藤 えりな (Vn.)

松実 健太 (Va.)

唐津 健 (Vc.)



第1部

シューマン／ピアノ五重奏曲 変ホ長調 作品44

第2部

ドヴォルザーク／ピアノ五重奏曲 イ長調 作品81

日時

平成26年3月2日(日)・14:00 開演 (13:30 開場)

会場

立川市女性総合センター・アイム・ホール
(立川市曙町2-36-2 フェール立川センタースクエア1F)

定員

196人 (申込順・入場無料)

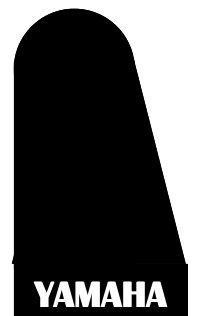
申込&問合

立川市幸学習館・Tel. 042 (534) 3076
※平成26年2月10日(月)より受付開始

since 2007



たちかわ市民交流大学



Profile

washimya miyuki

鷺宮 美幸 (ピアノ)

7歳よりピアノ、作曲、バイオリンを始める。その後、桐朋学園附属子供のための音楽教室、桐朋女子高等学校を経て、桐朋学園大学ピアノ科入学。在学中、フランス音楽界の第一人者H. ビュイグ＝ロジェ氏に見出され、パリに留学。帰国後、桐朋学園大学を卒業。

第56回日本音楽コンクール入選を皮切りに、U F A M国際コンクール・室内楽部門第2位、日本室内楽コンクール第3位、国際ピアノデュオ・コンクール2台4手部門第2位（日本人最高位）など、多くのコンクールに入賞するとともに、トゥール国際アカデミーでは2年連続で最優秀受講生に選ばれた。

音楽の構造を的確に把握した上での繊細かつ大胆な表現は高く評価され、現在各地の音楽祭での公式ピアニスト、オーケストラ公演のソリスト、室内楽奏者、桐朋学園大学嘱託演奏員など、国内外で活躍中。また多くの国内外の著名なソリストに請われ、イ・ムジチ合奏団のマッシモ・パリス、ジャン・ワン、マクサンス・ラリュエ、レ・ウヰアン・フランセのジルバール・オダシ等と共演し、また世界屈指のチェリスト、ミッシャー・マイスキーと「徹子の部屋」「ニュース23」でも共演し、好評を博す。

2014年春にはシンガポールでのソロ、室内楽コンサートが予定されている。

NHK-FMにも度々出演し、2007年11月にはNHKBS「びあひのピア」、2011年5月にはNHK・FMに「名曲リサイタル」にソロで出演。

これまでにピアノを寺西昭子、村手静子、T. パラスキヴェスコ、高木茉莉、松浪佳子の各氏に、室内楽をJ. M. ダマーズ、三善晃、H. ビュイグ＝ロジェ、クリスチャン・イヴァルディの各氏に、チェンバロを遠藤陽子氏に師事。

CDに、「ワッシー・ファンタジア」(PF.鷺宮美幸/DQC65パステイエル)、
「三上亮 ツィガース」(VN.三上亮、PF.鷺宮美幸/FOCD9395フォンテック)、
「唐津健 ブリッジ、バーバー：チェロ・ソナタ」(VC.唐津健、PF.鷺宮美幸/AUCD-19アウローラ)、
「マクサンス・ラリュエ 来日40周年記念コンサート」(FL.マクサンス・ラリュエ、ジョゼッペ・ノヴァ、東條茂子、清水和高、Cem.PF.鷺宮美幸/FPCD4421フォンテック)、
「コイデッシモII」(FL.小出信也、PF.鷺宮美幸/ALCD-7081コジマ録音)、
「バスーンブリンテンティッシモ」(FG.田中雅仁、PF.鷺宮美幸/ADW7457パヴァーヌ [ベルギー])、
「日本の作曲・21世紀の歩み」(VN.青木調、PF.鷺宮美幸/20-21CD003東京コンサート)、
「鹿野裕美子/高山植物のきせつ」(連弾:primo鹿野裕美子、secondo鷺宮美幸/wwcc-7361ナミレコード) などがあり、いずれも高い評価を得ている。
オフィシャルサイト<http://www.miyuki-washimiya.com/>

こばやし みえ

小林 美恵 (ヴァイオリン)

東京藝術大学附属高校を経て、同大学を首席で卒業。在学中に安宅賞、福島賞を受賞。1983年第52回日本音楽コンクール第2位。1984年海外派遣コンクール河合賞受賞。1988年にはシュボア国際ヴァイオリン・コンクール第2位、あわせてソナタ賞を受賞。

1990年、ロン＝ティボー国際コンクールヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝。以来、国内外で本格的な活動を開始する。

これまでに、NHK交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、アンサンブル金沢等の国内の主要オーケストラ、ハンガリー国立交響楽団、ブラハ交響楽団のソリストとして、充実した演奏を高く評価される。また、静岡のA01・レジデンス・クワルテットのメンバーをはじめ、数多くの共演者と室内楽の分野においても活動を広げ、軽井沢国際音楽祭に毎年出演するなど音楽祭にも積極的に参加している。

CDは、「プレイズ・クライスラー」、パスカル・ロジェとのデュオ「フォーレ」「ラヴェル&エネスコ ヴァイオリン・ソナタ集」、ツィゴイネルワイゼンなどを収録した「ヴァイオリン名曲集」など多数リリース。

2010年、デビュー20周年をむかえ、紀尾井ホールで記念リサイタルを好演、同年ロン＝ティボー国際コンクールのヴァイオリン部門の審査員として招かれた。2012年には、パキスタンで行われたパキスタン国交樹立60年の記念演奏会に出演。そのほか、フランス、イギリス、タイ、中国、韓国、ニュージーランド等でも公演を行い、洗練され、しかもダイナミックに奏でられる重厚な演奏は、多くの聴衆を魅了した。

今後も、日本を代表するヴァイオリニストとしてリサイタル、室内楽、オーケストラとの共演など全国各地で公演が予定されている。現在、昭和音楽大学教授。

オフィシャルサイト<http://www.miekobayashi.com/>

かとう

加藤えりな (ヴァイオリン)

第42回全日本学生音楽コンクール福岡大会第1位。東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校卒業。同大学入学後、パリへ留学。パリ国立音楽院、及びヴィグリー・ギトリス氏のもとで学ぶ。ヴァイオリン、室内楽ともにブルミエ・プリを得て同音楽院を卒業。ヴィエニオアフスキ (ジュニア) 国際コンクール、シュボア国際コンクール、リビツァ国際コンクール等で入賞及び特別賞受賞。ロン＝ティボー国際コンクールでセミファイナリスト。ノルマンディー室内楽コンクール第1位受賞 (デュオ) 後、フランス国内で多数のコンサートに出演。南西ドイツフィルハーモニー、Paul Constantinescu Ploiesti フィルハーモニーと協演。帰国後は、ラ・フォル・ジュルネ音楽祭、軽井沢八月祭、東京・春・音楽祭、NHK-FM名曲リサイタル、ラジオフランス (仏)、iTune-Store等にも出演。東京文化会館に於けるリサイタルで好評を博すほか、2010日本赤十字社主催ニューイヤーコンサートで東京都交響楽団と協演。現在、ソロ、室内楽、オーケストラ等幅広く活動中。東京芸術大学管弦楽研究部非常勤講師。

まつみ けんた

松実 健太 (ヴィオラ)

桐朋学園大学を経て、英国王立音楽院大学院ヴァイオリン科首席卒業。同音楽院ヴィオラ研究科終了。1992年バルマドロー国際室内楽コンクール最高位並びに新曲最優秀賞受賞。94年第9回ターンブリッジウェルズ国際コンクール優勝。第5回ライオンネターティス国際ヴァイオリン・コンクール第2位と、ピーターシドルフ特別賞を受賞。その他、国際コンクールにおいて多数入賞している。

2001年英国王立音楽院より「Hon. ARAM」(名誉王立音楽院準メンバー)の称号を授与された。現在は日本を拠点に欧米でも活躍、国内ではサイトウ・キネン・オーケストラ、ゆふいん音楽祭、いしかわミュージックアカデミー、宮崎国際音楽祭等に参加、またNHK-FM「ベストオブクラシック」、「名曲リサイタル」(2005年9月)出演など、主にソロ・室内楽奏者として活躍している。

2000年セイコーエプソンからソロアルバム「グリーンスリーブズによる幻想曲」をリリース、続いて、ライブノーツ・レーベル (ナミ・レコード) より「マイ・パッサ・ブラスワン」を、また初めてのヴァイオリン・アルバム、「通りゃんせ〜日本のメロディー」をリリース、いずれも好評を得ている。昨年10月にはニューアルバム「マイ・パッサ・ブラスワンII」をリリースした。

2005年10月15日には、東京・銀座の王子ホールでヴィオラafternoonリサイタル2005を開催し、好評を博した。

2006年8月、イギリスで開かれた第9回ライオンネターティス国際ピオラコンクール (第5回からユリー・バシュメットが名誉審査委員長を務める) に審査員として参加した。

現在、昭和音楽大学、桐朋学園大学付属音楽教室で後進の指導にもあたっている。昭和音楽大学所蔵のヴィオラ「F. ゴッフリラ」を貸与されている。

オフィシャルサイト <http://matsumikenta.com/>

からつ けん

唐津 健 (チェロ)

4歳からピアノを、9歳からチェロを始め、安田謙一郎、松波恵子、毛利伯郎の各氏に師事。1990年、桐朋学園高校音楽科を卒業後、英国王立音楽大学に特別奨学生として留学。ジャクリース・デュ・ブレを育てた名教授、ウィリアム・ブリス、アマリス・フレミングらに師事。ミュリエル・テイラー・チェロコンクールに最年少で第2位入賞。ヨーロッパ各地でリサイタルを行う。1994年には大学の推薦により、ロンドン交響楽団に於いて演奏。学内最優秀の生徒に与えられる、バリーマニロープライズなど、数々の賞を授与され、王立音楽大学を首席で卒業。その後、文化庁芸術家在外派遣研修員として、ジュリアード音楽院のザラ・ネルソヴァに師事。1996年にボストン・ニューイングランド音楽院修士課程に入学し、ローレンス・レスラーに師事。1998年、同校を演奏名誉賞付きで修了後、カザルスホールに於いて日本デビューリサイタルを開催。その演奏はスカイパーフェクトTVにて放映され、「精巧なテクニックを持ち、甘美な表情だけではなく、自身の心の内を素直に聞き手に伝えることのできる希有なチェリスト」と各誌で絶賛された。その後も、王子、津田、トッパン、軽井沢大賀ホールなど主要ホールでのリサイタルをはじめ、室内楽でも、国内外のトップアーティストと共演を重ねている。2002年より、「公共ホール音楽活性化事業」登録アーティストとして、全国でコンサートを行うほか、NHK-FM「名曲リサイタル」や、NHK-BS等テレビ出演も多い。2007年秋には、日本初録音となる「ブリッジ、バーバー：チェロ・ソナタ」をリリースし「レコード芸術」誌では、「最高に美しい音をひきだそうとする演奏姿勢、そしてその結果として生まれた音楽の自然な佇まいに感動を覚える」と高く評価される。現在、桐朋学園附属子供のための音楽教室や、蓼科高原音楽祭、2012年より、ACT室内楽セミナーにヴァイオリンの漆原啓子、小林美恵の両氏と共に招かれ、後進の指導にもあたっている。

オフィシャルサイト<http://www.ken.karatsu.name/>

Access

JR立川駅北口より徒歩6分

(立川市曙町2-36-2ファール立川センタースクエア1F)

Map

